

下水道による浸水対策のイメージ

ガイドライン改定のポイント

事前予防対策

計画の作成と実働訓練

▼AI等の最新技術の活用

災害関連の基礎情報

- 過去の被災実績
- 過去の気象情報

最新技術(AI等)により整理される判断材料

地下街関連の基礎情報

- 詳細な周辺地形データ
- 地下空間情報

- 出入口の浸水リスク判定
- 浸水実績に基づく最適な避難経路判定

浸水対策計画作成

- ・止水板設置
- ・避難経路選定
- ・情報発信

▼地域主体の実働訓練



出典：港区提供資料

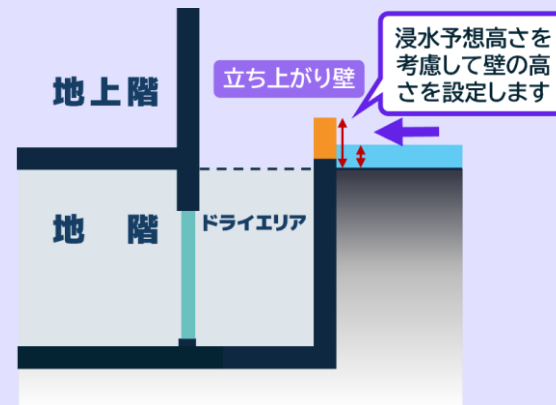
タイムラインの整備

発災前から発災後までの行動と役割分担を明記

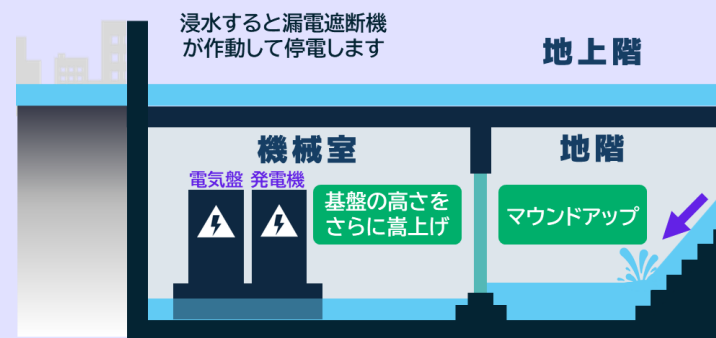
時間軸	数時間前	30分前	発災時	数時間後
気象情報	警報発令	特別警報	特別警報	特別警報解除
降雨の想定	50mm/h超	100mm/h級	100mm/h級	10mm/h程度
体制	警戒	非常	非常	警戒
地下街管理者	準備行動	情報共有 情報発信	避難誘導	情報共有
ビル管理者				
鉄道会社				
地元区				

浸水に強い建物

▼ドライエリア等の周囲立上げ



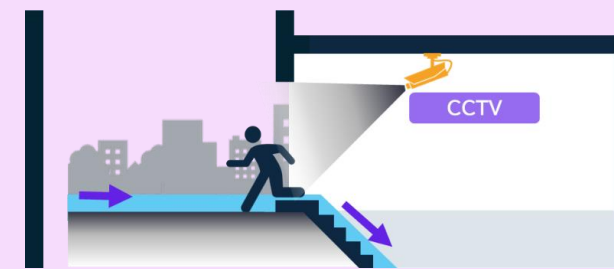
▼電気設備の耐水化・漏電対策



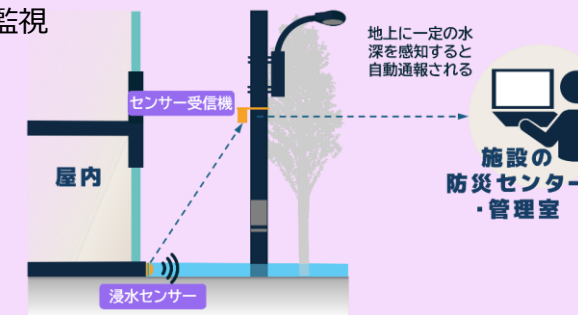
発災時対策

水害に関する情報収集・共有

▼浸水センサーやCCTVカメラによる浸水危険性の感知



出入口に設置したCCTVカメラによる監視



浸水センサーによる監視

浸水防止及び低減

▼止水板、土のう等の設置



避難誘導

- ▼館内放送・サイレン等を活用した避難誘導
- ▼将来的に、デジタルサイネージを活用した避難誘導

データの蓄積と最新技術の活用

将来的には、各種蓄積データ、ICTやAI等の活用により、避難経路の迅速な意思決定をサポートし浸水被害の軽減につなげていく。

基礎データ収集

災害関連の基礎情報

- 過去の被災実績
- 過去の降雨・気象情報

地下街関連の基礎情報

- 詳細な周辺地形データ
- 地下の空間情報

リアルタイムデータ収集

災害関連の基礎情報

- 周囲の浸水状況
- 降雨・気象情報

地下街関連の基礎情報

- 地下街の人流データ

判定

最新技術(AI等)により整理される判断材料

- 出入口の浸水リスク判定
- リアルタイム情報を踏まえた最適な避難経路判定

意思決定・対応

避難経路及び避難誘導の意思決定

- AI判定を参考とした、地下空間全体の状況を踏まえた避難経路・避難誘導の意思決定
- 止水板設置等防災対応
- 避難誘導実施

情報発信

地下街利用者等に対する災害情報・避難情報等の発信

- 避難誘導案内
- 災害情報の発信
- 交通情報の発信